

アグリ | ワーク | ポイント

先月から行っている樹上選果を引き続き行ってください。落とす果実は、外観不良果・天成り果・小玉果・遅れ花果等です。

樹上選果



果樹林産センター 鈴木大造

丁寧な収穫作業

収穫

収穫開始時期にかかわらず、果実の生育を見て、着色が7分以上のものから区分採取をしてください。収穫は手袋を着用し、軸の二度切りを徹底するなど丁寧な作業を心掛けましょう。

浮皮軽減対策

① クレント

4〜5分着色期にクレント100倍を散布しましょう。散布後の降雨は効果を低下させるので、天候を見極めてから散布してください。

② フィガロン乳剤

フィガロン乳剤3000倍を蛭尻期に散布しましょう。**熟期促進目的と浮皮軽減目的での使用は、合わせて年間2回までです。**過去の使用状況を確認してから使用するようになしてください。また、樹勢の低下した樹には散布しないでください。

秋肥

秋肥は、収穫後の樹勢回復や耐寒性を向上させる「礼肥」的な働きと、次年度の着果量・発芽量を確保する「元肥」的な働きがある重要な施肥です。地温が12℃以下になると吸収効率が悪くなるため適期に適量を施用してください。

・青島温州（11月上旬）

粒状固形248	60 kg / 10 a	または、
柑配6号	80 kg / 10 a	

病虫害防除

収穫前に貯蔵病害予防のための薬剤散布を行います。もちろん防除だけでなく、果実の丁寧な取り扱いや貯蔵管理の徹底など、すべての管理が貯蔵病害の発生防止には重要です。

- ・ベフラン液剤25 2000倍（収穫前日〜3回）
- ・ベンレート水和剤 4000倍（収穫前日〜4回）

予措

収穫後、果実を日陰の風通しの良い場所に置き、1週間かけてミカンを乾燥し、**3%〜5%程度を目安**に果実重を減少させます。予措を行うことで水分が減少し、傷つきにくい果実になります。